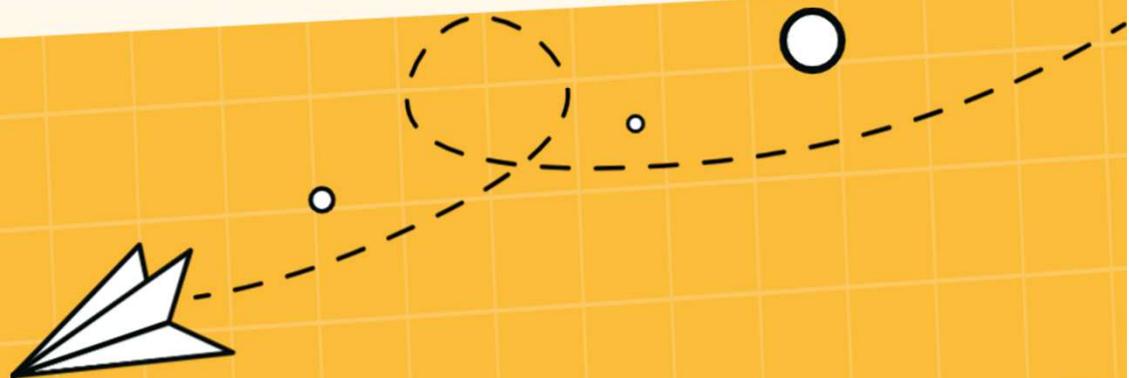




堀内会館再整備の検討に関する報告書

～地域の人々が「繋がる」場所へ～

令和7年3月
堀内会館再整備検討委員会



目次

1. はじめに
2. 議論の内容
3. 機能面に係る意見のまとめ
4. 再整備に向けたコンセプトとレイアウトイメージ
5. 再整備に向けた課題
6. まとめ

【参考】

- ・ 堀内会館再整備検討委員会の開催概要
- ・ 堀内会館再整備検討委員会の委員一覧



1. はじめに

堀内会館は昭和39年～41年に建築された未登記の建物です。

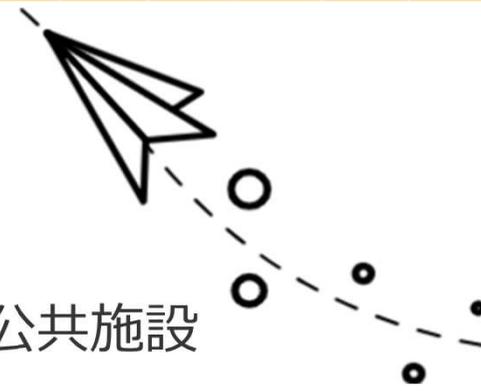
令和6年度末時点で築約60年が経過し、老朽化が著しいことから、町が主体となり、再整備を実施することを目指しています。

令和5年度～6年度にかけては、地域で意見交換会を実施し、様々な要望等の意見がありました。意見の中には、利用者を含めた再整備における検討委員会を立ち上げるべきとの意見があったことも踏まえ、「堀内会館再整備検討委員会」（以下、「本委員会」といいます。）を立ち上げ、令和6年度に5回委員会を開催し、再整備に向けた検討を行いました。

本委員会の委員は、町内会の代表者や利用団体の代表者、そして公募による町民の方等で構成され、各委員の立場から様々な意見があり、闊達な議論を行うことができました。

再整備に向けた課題は残りますが、どういった会館を整備するべきか検討した結果を報告いたします。

2. 議論の内容



【第 1 回】

○公共施設の現状についての情報共有

前提条件として、町から公共施設を取り巻く社会情勢や葉山町の公共施設の現状の説明がありました。概要は次のとおりです。

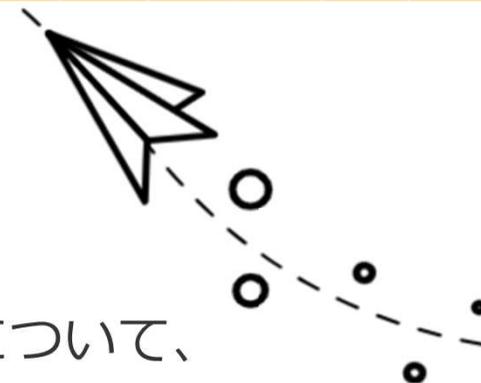
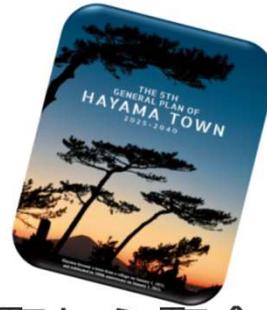
【概要】

- ・社会情勢として、日本全体で人口減少や少子高齢化の状況があげられ、葉山町も例外ではない。それにより、税収減や扶助費の増額が見込まれ、公共施設をこれまでどおり維持していくことが難しくなっている。
- ・葉山町の公共施設の約 8 割が築30年以上であり、老朽化が進行している。

○本委員会の今後の進め方、議論の内容について

- ①町が本委員会に求めるものは何か。 → 会館における機能や設備の検討を行い、報告してもらいたい。
- ②町として大枠の目指すべき方向性は。 → 次回町から説明をさせていただく。
- ③隣の児童遊園を含めた検討が必要か。 → 一体利用の可能性について検討をしてほしい。
- ④管理運営についての議論が必要では。 → 機能や設備の検討と並行して行ってもらいたい。

【第 2 回】



○第 5 次葉山町総合計画との関連性

前回の委員からの意見を踏まえ、町から町全体の大枠の方向性について、最上位計画である「第 5 次葉山町総合計画」（以下、「総合計画」といいます。）の内容を踏まえた説明がありました。

総合計画では、葉山町の目指す姿として「葉山らしいウェルビーイング = それぞれがその人らしく繋がることのできる町」としています。堀内会館においても、この目指すべき姿に沿った整備を目指します。

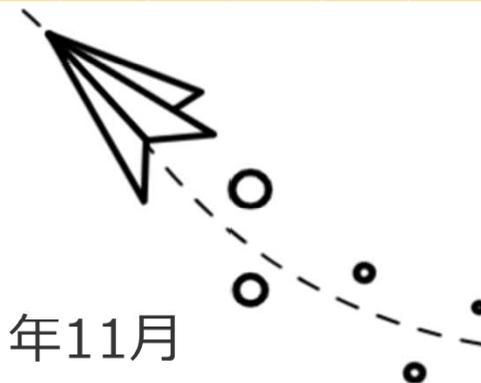
○他市町村の会館ワークショップ等の事例紹介

他市町村で行われている会館や公園の再整備に係るワークショップや計画資料等を確認し、今後の進め方の参考としました。

次回は、機能や設備の自由な意見出しをすることで合意しました。

久木会館建替え
ワークショップに関する報告書

令和 5 年 6 月
久木会館建替えワークショップ



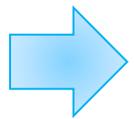
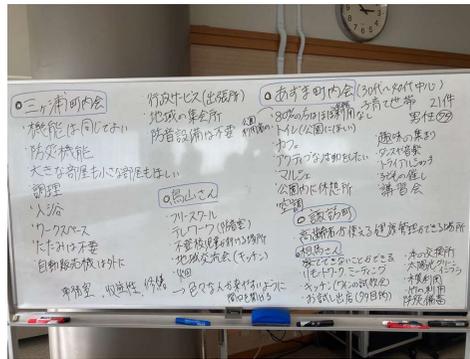
【第 3 回】

○利用者に対するアンケート等の結果共有

実際の会館利用者の意見を把握するため、町が主体となり令和6年11月～12月の約1ヶ月の期間において、アンケート調査を実施しました。15名の方から回答をいただき、内容を共有しました。

○会館の機能、設備に関する意見出し

個人としての考えの他、各町内会等で聞き取りを行った再整備後の会館に望む機能や設備、具体的な利用方法等について自由に意見出しを行いました。



結果については、10ページに記載しています。

【第 4 回】

○図面の確認

会館の機能、設備に関する意見出しの内容を踏まえ、建築の専門家である委員に図面を作成してもらいました。

各階の機能・部屋割りは右の表のとおりです。

○機能や管理運営体制に関する議論

【機能について】

- ・ 価値ある公共サービスの提供や地域の活性化を主目的とした会館とするべき。
- ・ スペースに余裕があれば、場所貸しも検討できるのではないか。
- ・ 実際に使ってみて気づく点もあると思うので、都度使い方の見直しをするべき。

1階 (310 m²)

- ・ 受付 ・ 行政出張所 ・ 町内会事務室 ・ 備蓄スペース ・ 防音室
- ・ 多目的スペース ・ ワークスペース ・ 図書コーナー ・ 小集会室
- ・ 入浴室 ・ トイレ (バリアフリースイレ含む) ・ 緑化斜面 (外部)

2階 (197 m²)

- ・ 調理室 ・ 大集会室 ・ 収納スペース、物入 ・ バリアフリースイレ
- ・ 2階テラス

3階 (41 m²)

- ・ 3階テラス (津波避難テラス (7.5m程度)) ・ 太陽光パネル

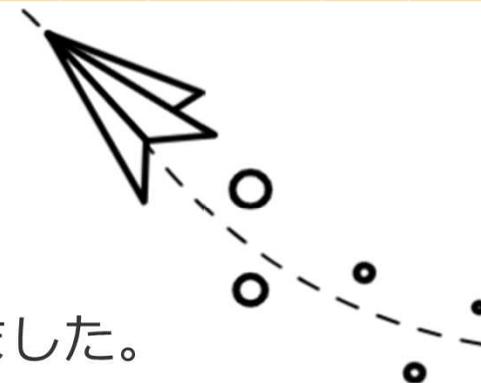
【管理運営体制について】

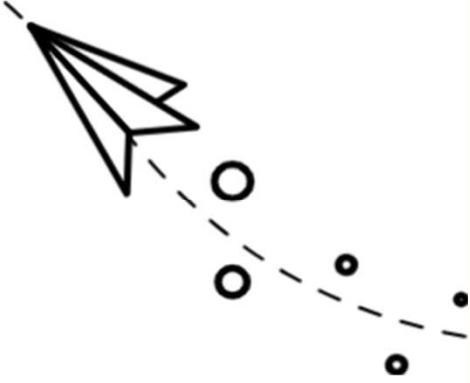
- ・ より良い管理運営体制の検討が必要なことを、今後の課題として本委員会から提言するべき。
- ・ 町内 (自治) 会、社会福祉協議会等を含めた協議会を設立し、管理運営を担う方法や施設の一部を福祉目的の事業者と賃貸契約により運営する方法も考えられる。
- ・ 行政が直営管理する方法もあり得るのではないか。
- ・ いずれの方法にしても、持続可能な管理運営体制を構築することが重要。

【第 5 回】



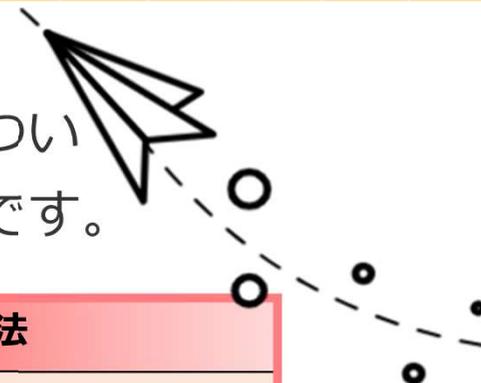
- 報告書提出に向けた最終確認
報告書提出に向けて、報告書（案）及び図面の最終確認を行いました。



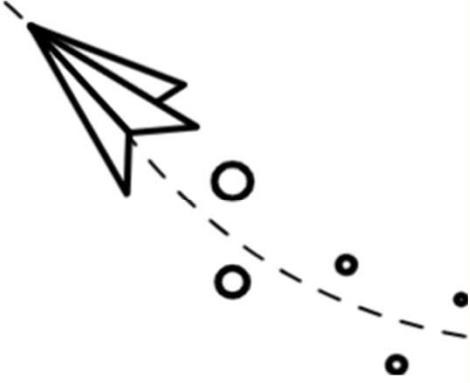


3. 機能面に係る意見のまとめ

第3回の本委員会において、各委員から機能・設備・利用方法等についての意見がありました。意見については、次の記載（一覧）のとおりです。



機能・設備		利用方法
空調設備	畑	趣味活動
広間	本の交換所	テレワーク
小さい部屋	太陽光発電	子ども食堂
キッチン	防災備蓄	料理教室
洗面所	木材、竹材の利用	試飲会等の飲食イベント
入浴設備	AED	トライアルショップ
自動販売機	Wi-Fi	フリースクール
ワークスペース	防音室	高齢者の健康管理
行政の出張サービス	有料駐車場	里山、自然への意識の啓蒙活動
事務室	トイレ（公園内）	学童保育
防災拠点	トイレ（バリアフリー化）	芋煮会
耐震設備	グリーンインフラ	地域交流会
プロジェクター		社会福祉協議会の拠点



4. 再整備に向けたコンセプトと
レイアウトイメージ



コンセプト

地域の人々が「繋がる」場所へ

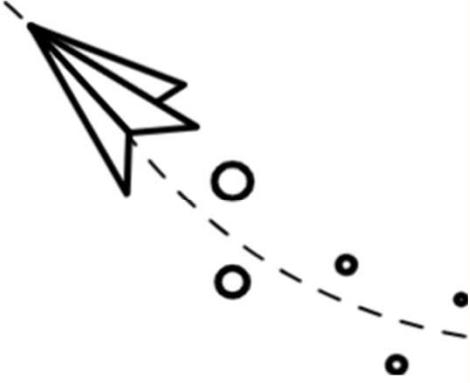
大事にしたいポイント

- ✓ 地域の人が使いやすい施設
→誰のための会館とするのかといった優先順位を考えた時に、地域住民が使いやすい会館としたい。
- ✓ 地域の活性化に寄与する施設
→町所有の施設として公共サービスの提供や地域活動の拠点といった機能を有する、地域の中心となる会館を目指す。
- ✓ 子どもからお年寄りまで多様に使える施設
→特定の団体や年代に限らず、より多くの方に使ってもらえるような間取り・機能を検討する。
- ✓ 児童遊園との一体利用により、面積を有効活用する
→現在の会館敷地と児童遊園敷地の間にある通路の切り回しを変更し、敷地の一体利用により面積を最大限活用する。
- ✓ 持続可能な管理運営体制の構築
→将来の維持管理費を見据えた利用料金の設定や透明性のある財政運営の仕組み作りを検討する。

レイアウトイメージ

※現段階のイメージ図であり、配置等を確定するものではありません。





5. 再整備に向けた課題

今後の再整備に向けた課題は次のとおりです。

1 再整備に係る費用の算出 と町の財政状況との調整

本委員会から提案する新たな堀内会館の再整備に係る費用を算出し、町の財政状況を踏まえた上で、実現の可能性を検討する必要があります。

2 管理運営の担い手の決定 と管理運営体制の構築

こういった団体（町内会、社会福祉協議会、新たな協議会、行政等）が管理運営（一部賃貸の可能性も含む）していくかは重要な課題であり、本委員会においても様々な意見がありました。

持続可能な会館運営を実現するための仕組みを構築する必要があります。

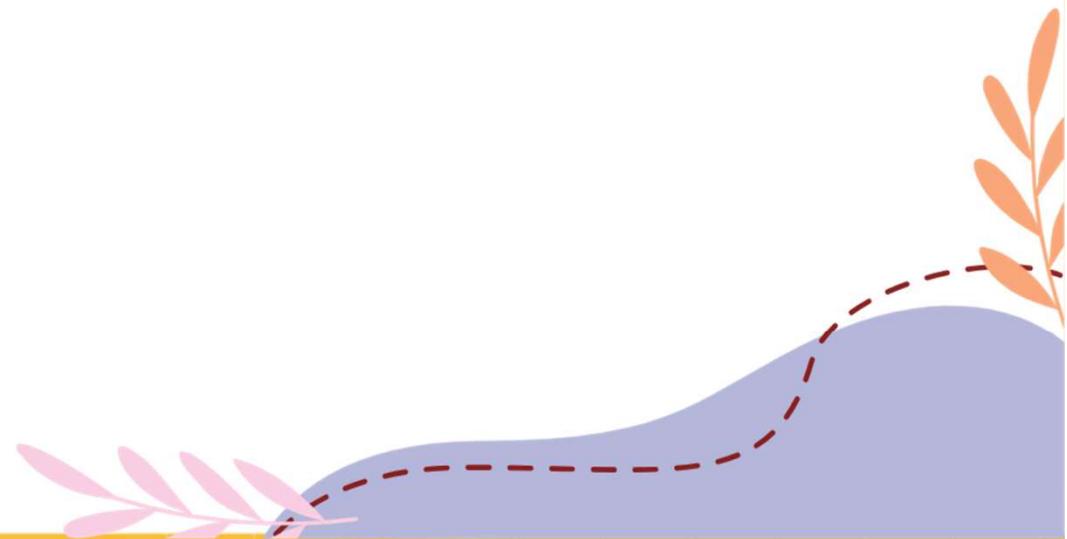
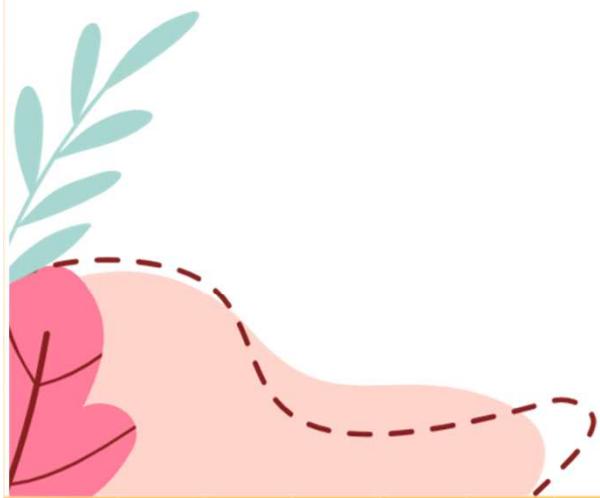
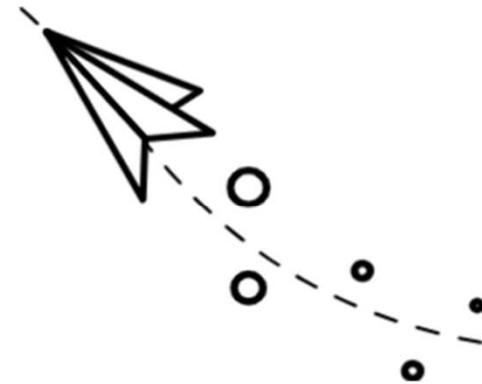
3 児童遊園との一体利用に 係る都市計画道路の取扱い

現在の隣接する堀内児童遊園を横切る形で都市計画道路を整備する計画となっていますが、会館と児童遊園の一体利用においてどこまで考慮すべきか検討が必要となります。



**これらの課題は、今後の検討課題として町と地域が
一体となり検討していく必要があります！**

6. まとめ

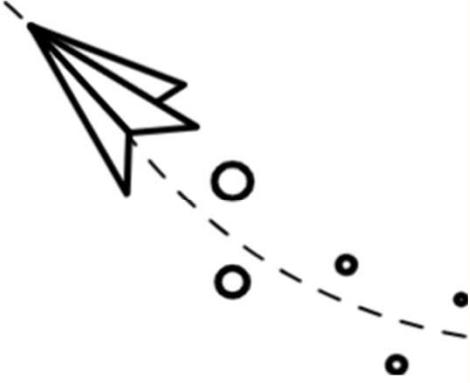


「繋がる」をキーワードにした再整備

今まで堀内会館を使っていた人も使っていなかった人も「使いたい」と思う施設にするためには、どうすればよいか本委員会で検討を進めてきました。

本報告書を参考に、地域に愛される施設として再整備されることを願います。





【参考】

- 堀内会館再整備検討委員会の開催概要
- 堀内会館再整備検討委員会の委員一覧

○堀内会館再整備検討委員会の開催概要

令和6年度において5回開催し、堀内会館の再整備に向けた検討を行いました。

開催回	開催日	内容
第1回	令和6年9月26日	<ul style="list-style-type: none">・ 公共施設の現状についての情報共有・ 本委員会の今後の進め方、議論の内容について
第2回	令和6年11月1日	<ul style="list-style-type: none">・ 第5次葉山町総合計画との関連性・ 他市町村の会館ワークショップ等の事例紹介
第3回	令和6年12月17日	<ul style="list-style-type: none">・ 利用者に対するアンケート等の結果共有・ 会館の機能、設備に関する意見出し
第4回	令和7年1月27日	<ul style="list-style-type: none">・ 意見、要望に対する優先順位付け・ 報告書の叩き台の確認
第5回	令和7年3月27日	<ul style="list-style-type: none">・ 報告書提出に向けた最終調整

「実際の本委員会の様子」



○堀内会館再整備検討委員会の委員一覧

本委員会の委員は次のとおりです。全7名による構成となります。

役 職	氏 名	区 分	備 考
委員長	川村 直毅	堀内会館を利用する町内会の代表	あずま町内会副会長
副委員長	小池 守	堀内会館を利用する町内会の代表	三ヶ浦町内会副会長
	小川 敏生	堀内会館を利用する町内会の代表	諏訪町内会副会長
	ラモンド 佳奈子	堀内会館を利用する団体等の代表	くもん教室指導者
	松本 拓也	堀内会館を利用する団体等の代表	あずま神輿保存会会長
	鳥山 泰輔	公募による町内在住者	
	相馬 立夫	公募による町内在住者	